

いわみざわ男女共同参画マガジン

# ア・ライク

ア・ライク (A'like) ～共に生きる～  
＜同様の・等しく＞という意味を持ちます。

2026年 VOL. 24



<写真提供 本田耕造氏>

<岩見沢名所探訪シリーズ⑩>

## いわみざわ公園のバラの花

志文町にあるいわみざわ公園のバラ園には630種8,800株のバラとハマナスが植えられており、6月下旬から10月中旬頃まで様々な種類のバラの花を楽しむことができます。

## コンテンツ

- 特集 困難女性支援法ってなんだろう？
- あ・らいくな人 来嶋 路子さん
- 第17期ステップアップ講座を開催
- セミナーや研修に参加して
- 市民会議の活動報告

# 特集 困難女性支援法ってなんだろう？

令和6年4月1日に「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」、通称「困難女性支援法」が施行され、もうすぐ2年が経過します。現在でも「具体的にどんな法律なの？」とご質問いただくことも多いことから、わかりやすく解説します！

どんな法律なの？



女性であることによって直面するさまざまな困難な問題に対し、途切れることなく支援を行うための法律です。一人ひとりの人権を尊重し、安心して暮らし、自分らしく自立した生活を送れる社会を目指しています。

## ●支援対象

DV や性被害、経済的な困窮、家庭や地域社会での孤立など、様々な事情により、社会生活で困難を感じている、またはそのおそれのある女性です。年齢や国籍、在留資格の有無に関わらず、支援が必要なすべての女性が対象となります。

## ■法律ができた理由

近年、女性をめぐる課題は、DV や性被害、生活困窮、家庭関係破綻や社会的孤立など複雑化・多様化・複合化しています。

女性は、男性と比較して、性差に起因して社会的に様々な困難な問題に直面する場面が多く、特にコロナ禍では外出自粛や収入が大幅に減ったことなどが原因で若年女性の自殺率が増加傾向となるなど、日頃から女性が抱えていた社会的課題が顕在化しました。

これまで根拠とされてきた売春防止法に基づく支援制度では、複雑化した課題に対応できず、実態に即した支援に繋がらない場合がありました。このような課題を踏まえ、女性の人権を尊重し、包括的な支援体制を整えるために「困難女性支援法」が制定されました。

## ■「困難」は見えるとは限らない

女性の抱える課題の原因は、現在直面している「見える困難」のほか、過去のDV や性被害など「見えない困難」に関連するものも少なくありません。

困難女性法は、過去から現在まで重なり合う生きづらさをひとつずつ切り分けるのではなく、まとめて受け止め、支援につなげるための法律です。

## 女性が直面する困難の例



## ■売春防止法とは？

売春・買春およびそれらを助長する行為を防止・処罰するために、昭和31年に公布された法律。法律制定当時は、貧困などが原因であっせん業者に売春を強要される女性が多くいました。売春防止法は、社会秩序の維持だけでなく、売春せざるを得ない立場にいる女性の「更生」を目的としていました。



これまでとココが違う！

## 困難女性支援法の注目ポイント



### ①人権尊重～罰するのではなく寄り添うものへ～

困難女性支援法には「理念」が明記されています。人権の尊重擁護、自己決定権の尊重は日本の福祉行政における基本的な考え方です。

従来の婦人保護事業は、売春防止法がベースとなっていたため刑事法の枠組みとして取り扱われました。「更生」が一番の目的とされ、福祉としての位置付けや支援から取り残されてきました。

困難女性支援法の成立により、売春防止法から脱却したことで、従来制度の枠を超え、人権の問題として取り組める体制が整いました。ひとりひとりの意思を尊重し、個別の事例にあわせて「支援」することが求められるようになります。

### ②心身の健康の回復は国の責務

条文に「当事者の意思の尊重」と同時に「心身の健康の回復のための援助、自立して生活するための援助等の多様な支援を包括的に提供する体制を整備すること」と明記されました。

これは、困難に直面し、支援を必要としている人をサポートすることは行政の責務であるということです。公的支援とは、単に国や自治体による費用負担のみを指すものではなく、女性の困難解消に社会全体で取り組んでいくという姿勢を示しています。

### ③官民の「協働」で効果的な支援を

課題解消に向けた最適かつ中長期的な支援の実現のためには、多数の公的機関や民間団体との連携・協働が不可欠です。

当事者の女性の意向を尊重しながら、その人が困難な状況から脱却して一歩進むために、それぞれの専門を活かし、官民が対等な立場で連携し、アウトリーチ\*によるきめ細やかな支援体制により複合的な課題に対応します。

※アウトリーチ  
積極的に対象者のいる場所に向いて働きかけること



困ったときは、どこに相談すればいいの？



このサイトが便利です！

## ■女性をサポートする相談窓口

女性支援特設サイト  
「あなたのミカタ」



困難な問題を抱える女性のための支援ポータルサイトです。

- 各地域の支援窓口に関する情報を一覧で掲載しています。
- お悩み別の相談窓口や受けられる支援に関する情報を確認できます。

### そのほかの相談窓口

- お住いの市区町村…いちばん身近な相談窓口です。
- 女性相談支援センター…女性に関する様々な相談に対応。
- 女性自立支援施設…滞在しながら支援を受けることが可能です。
- 警察…命の危険があるなど緊急の場合はためらわずに連絡を！

短縮ダイヤル

#8778(はなそうなやみ)

最寄りの女性相談支援センターにつながります

女性が直面する困難は社会的な問題が背景にありますが、「自分が悪い」と自己責任論が深く内面化されていることがあります。あなたは悪くありません。困りごとがあったら小さなことでもご相談ください。

かつて炭鉱で栄えた山あいの地域・美流渡地区。過疎化が進むなか、ここに集う人達があります。編集者として活躍しながら、日々の暮らしを楽しんでいる来嶋さん取材しました。

(取材日:2026年1月20日)



## 編集者

くるしま みちこ  
来嶋 路子さん

東京出身。大学生の頃から美術出版社でアルバイトをはじめ、その後『みづる』編集長、『美術手帖』副編集長などを務める。2011年、東日本大震災を機に北海道に移住。2015年独立したのち「森の出版社ミチクル」設立。2026年、岩見沢市東部丘陵地域をPRする「みる・とーぶ」の活動を始め、イベントやワークショップの企画などを行う。北海道教育大学非常勤講師。みる・とーぶプロジェクト実行委員会委員長。

## ■移住してから10年、今の本音は？

東京から岩見沢に移住して、今までやりたいと思っていたことが実現できて楽しいです。森で植物のツルを取ってきてかごを作ったり、縄文時代の土偶が好きで粘土で土偶や土器を作って野焼きしたり。エソシカの皮なめしもやりました。以前から興味はあったけれど東京ではできなかったことが美流渡では実現できています。

## ■東京と美流渡、現在のお仕事について

東京では「仕事だけしている」という生活で、1日14時間くらい働いていました。今は早起きして夜10時には寝ています。スキルが上がって仕事時間は短くなりましたが、業務量は変わっていません。地域の様々な活動や自然で遊ぶこともありますし、「やっておいた方がいいんじゃないかな」と思う事が次々舞い込んできて、毎日忙しい。時間が空くと予定を入れてしまうので、暇になることがありません。

## ■美流渡で暮らすご家庭のこと

夫、子ども3人と暮らしています。例えば学校のことだと、都会は選択肢が多すぎて人と比べてしまうし、お金もかかる。こちらは選択肢が少なくて煩雑にならない印象。都会の友達が遊びに来ると、子ども達の異常な元気の良さによく驚かれます。役割を決めたことはありませんが、私が働いているので家事育児は夫がやっています。持ちつ持たれつです。子どもの将来はわかりませんが、都会暮らしに興味を持っているのかなと思います。

## ■美流渡への移住のひろがりについて

最近、美流渡に魅力を感じて物件を探しに来る人や、週末だけ札幌から来てカフェを運営している人もいます。もともと美流渡には芸術の基礎がありましたが、MAYAさん※1が移住したことでアートを見に行くスポットとして美流渡が印象づけられたことも大きかったのではないのでしょうか。

※1 画家 MAYA MAXX (マヤ・マックス) さんのこと。  
2020年に東京から美流渡へ移住。2025年1月死去。

## ■エコビレッジ構想のこれから

具体的なビジョンは全然無かったのですが、関わる人達が自分のやりたいことへのびのび取り組める状態になったらいいなと思います。みんなで緩やかにつながってコミュニティができてきました。この状態が、具体的なビレッジにはなっていないけれど、エコビレッジにつながる「心のつながり」になっているのではと感じます。

## ■みんながニコニコする街になったら

地域課題をあえて作って解決しにくる人がいますが、ちょっと違うと思います。今ここにいる人達には、不便でもあえてここに居たいと思えるだけの「ハッピー」がある。行政サービスで幸せになるのではなく、別の何かで幸せになって「なんかこの辺に住んでる人、ニコニコしててめっちゃいい！」と全国モデルになるくらいになるといいなと思います。

## ■これからのこと

みる・とーぶプロジェクト※2としてMAYAさんの展示をもっと充実させたいです。ちょっと不思議な集団だけど、集まる人が心の底から楽しむことによって、「面白そう」って世界からも来てくれるような場所になるといいなと思います。

※2 みる・とーぶプロジェクト  
移住者と地元の人々をつなぎ、美流渡地区を含む東部丘陵地域の魅力を発信している。地域のマップ制作や展覧会など各種イベントを開催。



来嶋さんは大変話し上手で、楽しくお話を伺うことができました。移住先として美流渡を選ばれた来嶋さんは、今も編集者として第一線でご活躍されています。来嶋さんの体験を基にした書籍も出版されており、是非読んでみてください。

# 2025 男女共同参画市民フォーラムの開催

岩見沢市では、誰もが自分らしさを大切に、共にいきいきと暮らせる未来を目指して、毎年本フォーラムを開催しています。令和7年度は「～見直そう！我が身を守る身近な防災対策～」をメインテーマに、男女共同参画の目線での防災対策について学びました。



## 講演

### ママ目線！みんなで今すぐできる忘災術(ぼうさいじゅつ) ～もしもに備えるいつも～

歌う防災士 しほママ さん(防災・安心プランナー)

日時:令和7年6月22日(日) 午後1時30分

会場:岩見沢市自治体ネットワークセンター マルチメディアホール



歌う防災士しほママさんは、2011年3月に起きた東日本大震災、2016年の熊本地震、2020年7月の豪雨といった大災害を経験されており、その体験談や防災の備えに関する講演を全国各地で行っています。日常生活のなかでできる防災への備えや防災に関する心構え、知っておくと役立つ知識について、歌や体操を交えて楽しく学ぶことができました。



## 第10回男女共同参画川柳コンテスト表彰式

市民フォーラムと同時開催で、第10回男女共同参画川柳コンテストの表彰式が行われました。令和7年度は27名の方から75作品の応募がありました。毎年4月に作品を募集しています。詳しくは広報いわみざわや市ホームページをご覧ください。たくさんのご応募お待ちしております！

### 《大賞》

変わる世へスマホも人もアップデート 佐々木 隆子 さん

### 《入選》

多様性優しくつながる人と人 川村 友枝 さん

認め合いつながり合ってらしく生き 古関 仁久 さん

育休の会話盛り込むおまご 杉山 武志 さん

他人事と思う気持ちに棲む差別 范 英二郎 さん

ありがとう家事分け担い増える声 三輪 康司 さん

(※入選は順不同)



←応募方法など  
詳細はこちら

## オススメ 書籍 紹介



### マチズモを 削り取れ

著者:武田 砂鉄  
集英社 2021年

ジェンダーギャップ指数が先進国中最下位から抜け出せない日本。日常の場面の至るところに存在する「マチズモ＝男性優位主義」の実態を著者が調査します。女性であるというだけでぶつかるたくさんの障壁。担当編集者Kさんの檄文を契機に、当事者の言葉に耳を傾け、言語化して検証し、日本の問題点をあぶり出します。

# 第17期ステップアップ講座を開催

今年度のステップアップ講座では、女性の社会進出が進むなかでの男性の在り方の変化や、想像以上に長くなった「晩年」を自分らしく生きるための備えについて、全2回の講座を実施しました。

## 第1回

### 多様化する男たち: DEI 推進、グローバリズム、そしてトランプ

瀬名波 栄潤 さん(北海道大学大学院教授)

令和7年9月30日(火) 午後6時30分~8時



DEI 推進がグローバルに展開される現在 男はつらいよ!?



瀬名波さんには「男性」をテーマにご講演いただきました。男性性にも霸権的・従属的・周縁的という序列があり、その他様々な男性像が存在することや、女性の社会進出によって男性の終身雇用制や存在価値がゆらぎ、伝統的な男らしさが嫌われ、男性への評価や期待が変わりつつあることについて、大変分かりやすくお話しいただきました。これからの社会では、男性も多様性を認め、共存していくことが大切であると学びました。

また、映画「生きる」、「クレイマー、クレイマー」、「アメリカンビューティー」、「ムーンライト」の4本を取り上げ、男の姿・扱い方の変遷について解説いただきました。

#### ■DEI 推進とは?

Diversity (多様性)、Equity (公平性)、Inclusion (包括性)の頭文字を取った略称。組織内で多様な人材が公平な機会を得て、その個性を最大限に活かせる環境を作るという考え方や取り組みを指します。

## 第2回

### 本気で「人生100年時代」を生きる

新田 雅子 さん(札幌学院大学准教授)

令和7年10月21日(火) 午後6時30分~8時



長くなった「晩年」は、それでもこれまでの人生に比べれば、確実に短い。

現在75歳の女性は平均でも90歳までは生存する見通しです。この数値は40年前(1984年)と比較すると約5.0年延びています。また100歳以上の人口も増加傾向にあり、高齢期の備えの重要性がさらに高まっています。老いた後に待つ、短いようで想像以上に長い「晩年」、多くの人は加齢による脆さを抱えて生きる現実についてお話しいただきました。

新田さんの講演から、元気なうちに「老い支度」を行い、残された人が困らないようにすることや、自分自身が長い高齢期を生き抜く新たな時代のロールモデルとなることを目標に、今から取り組んでいくことの大切さについて学ぶことができました。

# セミナーや研修に参加して

今年度は、奈良県橿原市で開催された日本女性会議やいわみざわLGBTQ セミナー等に参加しました。講座への参加や参加者同士の対話を通じて、知識を深めることができました。

## 日本女性会議 2025 橿原 開催期間:令和7年10月3日(金)~5日(日)



### ■日本女性会議とは？

全国から約 2,000 人の参加者が集う男女共同参画をテーマとした国内最大級の大会です。男女共同参画を切り口として地域が抱える様々な課題の解決策を探ることを基本理念として、1984 年からスタートし、これまで全国各地で開催されてきました。

岩見沢市からは実行委員 2 名、職員 1 名が参加しました。男女共同参画社会の実現を目指した、今年で 40 回目の開催となる日本最大級の大会で、市民・団体・企業・行政等が一丸となって取り組むイベントです。大会テーマは「日本国始まりの地から未来へ～多様性を認め合う社会の実現を」でした。

オープニングでは橿原市の紹介後、内閣府男女共同参画局長の基調報告を皮切りに分科会でのパネルディスカッションやシンポジウム等様々なテーマでの活発な情報提供や意見交換が行われました。企業・地元大学生等からの実践報告や有森裕子さん(元プロマラソン選手)、アンミカさん(モデル・タレント)等の著名人による講演も行われ、会場も満員と大盛況でした。

最も印象に残ったのは、あるパネリストの方が「男女共同参画社会を進めるためにひとりひとりが声を上げて、ムーブメントを起こそう！」と何度も訴えられていたことです。できることから行動すること、この日々の小さな積み重ねが大事であると改めて感じました。



## いわみざわ LGBTQ セミナー 令和7年11月18日(火) 午後6時30分~8時

- 講話:「LGBTQ+ってなに?~みんなちがって、みんないい」
- グループワーク:「自分らしさ」や「ちがいの大切さ」を語り合おう
- 講師:廣川 衣恵さん(スマイルオフィスなないろ代表)



今年度は、2016 年に札幌市男女共同参画課課長に就任、政令市初となる LGBT パートナシップ宣誓制度創設に携わり、退職後も LGBTQ の理解促進にご尽力されている廣川衣恵さんを講師として、性の多様性や LGBTQ+ に関する正しい基礎知識、アンコンシャス・バイアス\*について学びました。

講演では、対話形式のワークにも取り組みました。日常生活のなかで感じている「自分らしさ」や「ちがいがあってよかったこと」について受講生同士で意見を交わしました。「あたりまえ」を見直し、多様な生き方や感じ方等の「ちがい」を共有することを通じて、多様性への理解を深めることができました。

\*アンコンシャス・バイアス 「無意識の偏見」。何かを見たり、聞いたり、感じたりしたときなどに無意識に「こうだ」と思い込むこと。

# 市民会議の活動報告

令和7年度は、男女共同参画週間と女性に対する暴力をなくす運動期間に、啓発展示・啓発グッズ配布を実施しました。今後も、市民の皆さんに関心を持ってもらえるよう、継続して活動していきたいと思います。

## パープルリボンプロジェクト 令和7年11月12日～25日

女性に対する暴力をなくす運動期間に合わせて、公共施設や商業施設のご協力のもと、市内3か所でDV防止を呼び掛けるパネル展示・啓発グッズの無料配布を実施しました。



## 2026男女共同参画市民フォーラム開催決定！！

令和8年度は6月27日（土）の開催を予定しています。詳細が決まり次第、市ホームページやチラシにてお知らせします。



## 市民会議メンバー募集中！

いわみざわ男女共同参画プラン推進市民会議では、会員と一緒に活動していただける実行委員を募集しています。

男女共同参画への理解を広めるため、岩見沢市と協働で様々な取り組みを行ってみませんか。年齢や性別などは問いません。ぜひお気軽に事務局までお問い合わせください。

会員には、イベントのお知らせや情報誌をお送りしています。  
入会費・年会費無料です。  
ぜひご入会ください！



## 編集後記

豪雪地帯の岩見沢市にしては珍しく、年末年始は例年より比較的降雪が少なく穏やかな幕開けとなりました。しかしより広く外に目を向けると、国内外を問わず不安になるニュースが数多く飛び込んできます。

今、私たちが真剣に取り組むべきことや考えるべき課題はたくさんあります。自分たちにできることをコツコツと積み上げ、今より少しでも良い方向へ社会が変わっていくように活動を続けたいと思います。

発行 いわみざわ男女共同参画プラン推進市民会議

【事務局】岩見沢市市民環境部市民連携室  
男女共同参画担当

ア・ライク  
VOL.24  
2026年3月

〒068-8686 岩見沢市鳩が丘1丁目1番1号  
☎（直通）0126-35-4271  
（代表）0126-23-4111（内線 2114）  
E-mail danjo@city.iwamizawa.lg.jp